



1

(1)	8
(2)	$y = -x + 5$

[解説]

- 1 (2) 変化の割合が -1 だから、 $y = -x + b$ という式がたてられる。
 これに $x = 8$, $y = -3$ を代入して、 $-3 = -8 + b$, $b = 5$
 よって、 $y = -x + 5$ となる。

2

(1)	$y = -0.08x + 36$
(2)	32 L
(3)	300 km
(4)	$0 \leq x \leq 450$
	$0 \leq y \leq 36$

- 2 (1) 10 km 走るのに0.8 L使うので、1 km 走るのに使う量は0.08 L。
 1 km 走るごとに0.08 L減るから、
 $y = ax + b$ で $a = -0.08$
 $x = 0$ のとき $y = 36$ だから、 $y = -0.08x + 36$
 (2) $x = 50$ を式に代入して、 $y = -0.08 \times 50 + 36 = -4 + 36 = 32$ L
 (3) $y = 12$ を式に代入して、 $12 = -0.08x + 36$
 $8x = 3600 - 1200$ $x = 300$
 (4) ガソリンがなくなる($y = 0$)のは、
 $0 = -0.08x + 36$ より $8x = 3600$, $x = 450$ km 走ったとき。
 よって、 $0 \leq x \leq 450$, $0 \leq y \leq 36$

3

(1)	$-\frac{3}{4}$
(2)	$-\frac{5}{6}$

- 3 (2) x の増加量 $\dots \frac{4}{9} - (-\frac{2}{3}) = \frac{10}{9}$
 y の増加量 $\dots -\frac{3}{4} \times \frac{10}{9} = -\frac{5}{6}$